

# 立教 經濟學研究

第二十三卷 第四号

昭和四十五年一月

## 論 文

『經濟學批判要綱』における資本の流通過程 (下)……水谷 謙 治

——流動資本と固定資本の諸規定の検討を中心として——

「差額地代」と「価値」(七)……………井上 周 八

——白杉庄一郎教授の所説に関連して——

正しい批判はいかにあるべきか (十一)……………山 本 二 三 丸

——教条主義批判を装った修正主義——

## 研 究 ノ ー ト

戦後日本の製粉工業 (下)……………中 内 清 人

——從属的国家独占資本による再編過程——

## 書 評

小林威雄著『貨幣の基礎理論』……………遠 藤 茂 雄

F・シェラー著 戸田義郎監訳 安平 昭二訳『複式簿記の基礎理論』……………茂 木 虎 雄